

KSKS
ちい31年 2月 221

「復活」

かいりじちょう おおさわせいいち
ちいろば会理事長 大澤星一

教会の暦では、2018年の今年は4月1日に復活日(イースター)を祝いました。イースターとは
十字架につけられて死んだイエスが三日後に甦られたことを記念し、祝うキリスト教の祝日です。イ
エスの誕生を祝うクリスマスと、世界中にある教会の誕生を祝うペンテコステと並んでキリスト教の
三大祝日となっています。

クリスマスは毎年12月25日と決まっていますが、イースターは昔の暦(月の満ち欠けを基準としている)の上の記念日なので、毎年変わるので。決められているのは、春分の日の次の満月の次の日曜日となっています。

最近では、ディズニーランドやユニバーサルスタジオなどがイベントとしてやり始めて一気に社会に広まりましたが、そのうち、ペンテコステもするんだろうかと、楽しみ？にしています。ペンテコステの出来事は、聖書には、イエスがいなくなつて怖がり、不安でいっぱいの弟子たちの上に、聖靈が降ったと書いてあり、炎のような舌がその時の様子として描かれています。イベントとしてするなら、いったいどんなイベントになるのでしょうか。

イースターには、イースター・エッグという卵が使われます。これは硬い殻を割ってひよこが誕生する様子から、イエスの復活に見立てて使われます。

一度死んだ人がどんな風に甦るのか、実際どのようにだったかは聖書には詳しくは書かれていな
いし、わかりません。「そんなんあり得へん」と思うかもしれません。でも、イエスがいなくなって淋しく不安
に思っていた弟子たちには、とても勇気づけられた出来事でした。怖いことがなくなったとは言いませ
んが、怖い思いを乗り越えて、新しく出発することが出来ました。今、世界には教会があります。それ
はこの弟子たちが恐れを乗り越えて一歩を踏み出せたから出来た教会です。西大和教会もです。そ
んな風に考えてみると、イエスの復活という出来事は、とても大きくて大事な出来事だったのだなあと
思うのです。

4月になって、2018年度という節目が始まります。春になって、ブルーベリーの木も、花壇の草花も、新しい芽を出しました。そんな自然の姿を探しながら、イエスの復活を感じていけたらと思います。

レポート合宿に参加して

かいしゅにん ちいしばだより おくだ ようこ
奥田 阳子

2018年3月9日・10日、法人外部の研修としてひまわり教室のレポート合宿に初めて参加し、学習させていただきました。

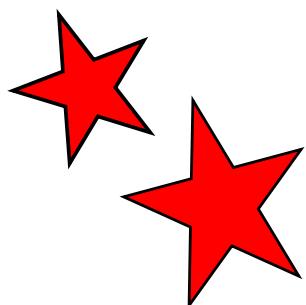
ひまわり教室は、石川県金沢市にある40年余りの歴史をもつ障害児通園施設です。障害種別や程度に関係なく、だれでもが通うことができ、吸痰や経管栄養といった医療的ケアを必要とするお子さんの受け入れ体制も整えておられます。わずかな時間ですが保育の様子を見せていただき、人工呼吸器をつけたお子さんもごく自然に他の子どもたちと同じ遊びを共有している様子には大変驚かされました。ひまわり教室の徳田茂先生は以前ちいしば園に来て下さったことがあります。「心にはドアがある。みんなに共通しているのはドアのノブは内側にあることです。強引に開けようとしていませんか?」と言われた言葉を今でも覚えています。

レポート合宿は、ひまわり教室の職員の方数人で続けてこられたレポート検討会に、徐々に深いつながりのある事業所の職員の方々等も加わり、今では70名程が参加する合宿です。福祉の現場で働く職員が日々の活動を振り返ってレポートを書き、報告し、参加者で討論するというので、参加者は障害をもつ人やそのご家族、保育園や学校の先生等多様です。レポーターに次々に投げかけられる疑問点や意見の中にはドキっとするような投げかけもあります。今回の合宿では、成人している方やひまわり教室に通うお子さんに関する計3本のレポートについて討論がなされました。

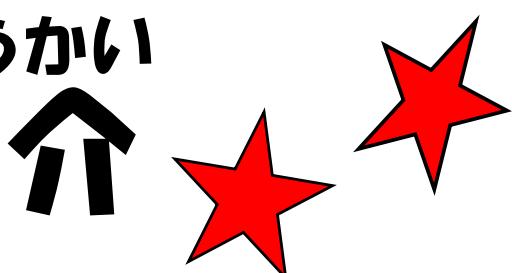
ひまわり教室に通うAくんに関するレポート検討では、討論の中でAくんのお母さんと先生方とのやりとりも聞かせていただき、お母さんに自信を持ってもらいたい、地域の中で胸を張って暮らしてほしいという想いを持って関わっておられる様子が浮かびました。先生方は子どもたちとの関わりだけでなくご家族への寄り添いや一緒に歩むこともとても大切にしておられるのだと感じます。ご家族の考え方、その変化は子どもたちの育ちと生き方に大きく影響し、どこで学ぶのかという就学先を選択するプロセスにおいても違いが生じるでしょう。

また、31歳のBさんに関するレポート検討では、参加者の中から「Bさんの31年間の歴史がありますね。」という発言がありました。一人一人と関わりをもつということは、一人一人を深く知っていくことです。どんな人と出会い、どんな人間関係を築いてきたのか、どんな経験をしてきたのか、関わってきた人たちはどんな想いだったのか、気持ちの変化はどうだったのか。家族を含めた本人のこれまでの歴史に目を向けることの大切さをレポート検討全体を通して強く感じました。一昨年ちいしば園に来て下さった日本女子大学の久田則夫先生から、「ライフヒストリー」と「ライフストーリー」という言葉を教わりました。単なる生活歴(ライフヒストリー)だけでなく、伝えたい大切な話、知ってもらいたい大切な話(ライフストーリー)をも知ることがその人をより深く理解することにつながるのだと思います。

合宿後、自分が感じたことを整理していると、ちいしば園の利用者のみなさんや日頃相談支援で関わっている相談者の方などいろんな人の顔が浮かび、一人一人の歴史の中には「私」自身も関わっているということ、影響し合っているということの重みを再認識しました。レポート検討でなされていましたように日頃から自分のとった行動を振り返り、点検することの積み重ねによって、無責任な関わりにならないようにしたいと思います。この二日間、感じることや気づくことがものすごく多かったです。ひまわり教室の先生方には、観光案内までしていただき本当にありがとうございました。一緒に学ばせていただきありがとうございました。



しゃしんとも 写真で友だち紹介



このページでは、利用者の皆さんに、お友だちをひとり選んで写真を撮ってもらい紹介してもらいます。紹介をされた人には、次号であらたなお友だちを紹介してもらうという数珠つなぎのコーナーです。お友だちを紹介してくれる人には3つの質問をお願いします。

『1、どうしてその人を選びましたか？ 2、どういう所が気になりますか？ 3、その人の好きなことは？』

平山 恵理さんより・・・

藤本千絵さんを紹介します！



Q1 どうしてその人を選びましたか？

→いつも明るいから

Q2 どういう所が気になりますか？

→替え歌を歌う所

Q3 その人の好きなことは？

→自分のノートに色々な芸能人が誰のものまね
で出来るかを書くこと

松本 敬子さんより・・・

竹下 由里子さんを紹介します！



Q1 どうしてその人を選びましたか？

→幼稚園の頃からのお友達です♥

Q2 どういう所が気になりますか？

→格好いいコックスーツを着て頑張っている所

Q3 その人の好きなことは？

→社交ダンス・船に乗ってクルージング旅行



みつけた！合理的配慮

ちいしば園 生活支援員 磯道 香織

「うわっ、めんどくさ！！」

電車の中で男の子がお父さんと思われる人に言いました。男の子の目線の先には、駅員さんがスロープ板を設置して車椅子に乗られた方と下車している姿。

「わざわざあんなんしてもらわなあかんの？駅員さんがめっちゃ大変やん！！」と、男の子は話し続けます。そんな男の子にお父さんはゆっくりとした口調で、「何で？困っている人へのお手伝いは当たり前だと思わない？」と、優しく語りかけ始めました。残念ながらその先どんな会話が続いたのかはお二人が下車されたので分かりません。でもそのまま話ながら歩いて行かれました。

この場合合理的配慮として当てはまるのは『電車の乗降が困難な為によるスロープ板の設置』となると思います。でもそれよりも、『困っている人へのお手伝いは当たり前』まず大切なのはここなんだと思います。

障害者差別解消法で決まっているから、障害者に対して必要な配慮を行わなくちゃ。。。いやいや、そうじゃなくて障害があっても困っている人がいたら手助けする。わざわざこんな条例を作らなきゃいけない今の社会が本当はおかしいよってことだと思うんです。

この男の子も、自分が困った時には誰かに手助けしてもらっている。それが、今見た光景と同じなんだとお父さんとの話し合いで気付いてくれたんじゃないかな、と願います。

そして私は、合理的配慮という言葉の存在自体がおかしいと思うので、その言葉がなくなった時が真の助け合い精神を持った社会になれるのだと思うのです。

たいかい なら き

「ピープルファースト大会in奈良」に来てね！！



ちてきしょがい とうじしゃ つど ぜんこくしゅうかい たいかい ねん ことし かいめ
知的障害をもつ当事者が集う全国集会「ピープルファースト大会」は1994年からスタートし今年で24回目になります。全国大会は毎年開催地を変えて開かれており、今年の大会は12月1日・2日に奈良で開催されることが決定しました。奈良県内での開催は、1998年の第5回大会以来2度目になります。

たいかい かいさい む げんちじっこういいん そしき じゅんび えん とうじしゃ しんしや ぼしゅう
大会の開催に向けて現地実行委員を組織して準備をすすめるため、ちいしば園も当事者や支援者の募集に協力しています。今年2月より、ちいしば園、ひまわりの家（ピープルファーストジャパン全国事務局・ピープルファースト奈良事務局）の利用者数名と支援者が県内の様々な事業所に出向き、「現地実行委員になりませんか？」「支援者として協力をしてもらえませんか？」と呼びかけを行なってきました。やってみようかな！という当事者の方や、大会当日の運営を手伝ってくれるボランティアスタッフなど少しずつ手を挙げていただいているところです。現地実行委員会は月に1回程度平日の日中に集まり、大会に向けて様々な役割を決めたり、準備をしたりしていきます。興味のある方はぜひ下記までご連絡下さい。

～～とにかく大会に、来てください！！～～

ちてきしょがい ひと なか じったいけん い あ ひと
知的障害をもつ人の中には、実体験しないと（やってみないと、行ってみないと、会ってみないと）イメージがつきにくいため、経験したことのないことに対して尻込みしてしまう方も多くおられます。そういった人たちにとって、自分と同じ障害をもつ仲間に出会って話を聞いたり同じ時間を共有したりするために足を運んで出向くことはとても意味のあることだと感じます。ピープルファースト大会は毎年600～800人程度集まる大きな大会ですが、その多くが知的障害をもつ人たちです。当事者で話し合い、当事者の手でつくられる大会は、すごく元気が出ます。また行きたい！と思えるからこそたくさんのリピーターがいます。ぜひ多くの方に大会の雰囲気を味わってもらいたいです。

12月1・2日は、ピープルファースト大会in奈良に来てね！！

資金集めにご協力ください!!

たいかいいうえい しきんあつ おこ
大会運営のための資金集めも行なっています。「ピープルファースト」は、知的障害をもつ当事者の組織であることから高い会費徴収もなく、国や自治体からの補助金もありません。年に一度の全国大会は「公益財団法人キリン福祉財団」からの補助と参加費以外は、開催を任せられた地方組織で資金集めを行なっているのが現状です。奈良大会開催のための資金協力の目標総額は50万円です。

しきんきょうりょく ほうほう たいかいさっし こうこくりょう
資金協力の方法／①大会冊子への広告料
(A4版1枚全体で2万円、A4版1/2で1万円、A4版1/4で5千円)

②大会カンパ

ご協力よろしくお願いします。



れんらくさき	たいかい
連絡先：ピープルファースト大会	
なら	げんちじっこういいんかいじむきょく
in奈良	現地実行委員会事務局
でんわ	電話：0745-72-1923
えん	(ちいしば園)
たんとう	担当：奥田

ちいしば会職員リレー エッセー



理想の職員像とは

ちいしば園 生活支援員 笠井 草太

私は2016年の10月からちいしば園で働かせていただいています。入職当時は何をするにも緊張で

堅さが取れず、余裕のない日々を送っていましたが、最近ようやく日々の業務に慣れ、利用者さんと楽

しく過ごす事が出来ているように思います。

そんな私の理想とする職員像は「柔軟な対応力のある職員」です。日々の支援の中で、私にと

って想定外の出来事が起り、予定していた作業の内容を変更しなければならない場面が時折あります。

そんな時、私では解決策が浮かばず、先輩職員に相談するのですが、先輩職員にとっては想定内

の出来事で、すぐに複数の提案をいただき、解決できたことがよくありました。あらゆる可能性を事前に

考え、対応策を練っておく事、常に「かもしれない」の考えを持ち柔軟に対応する事は、利用者さ

んと信頼関係を築き、安心してちいしば園で過ごしてもらうために必要不可欠です。職員が「どうし

たらいいんだろう」と慌ててしまえばそれだけ利用者さんを不安にさせてしまいます。そんな場面が私

には何度かあったように思います。

日々の業務に慣れてきたとはいえ、まだまだ知らない事、経験していない事ばかりで未熟な私は

が、1日1日を大切に振り返り、さまざまな経験を積みながら利用者さん、ご家族、職員と本当の意味で

互いに信頼し合える関係を築けていけたらと思っています。

次は、ちいしば園の辰己真奈美さんにバトンを渡したいと思います。

次回からのテーマは「わたしの好きな言葉」です。

よろしくお願ひします。

社会福祉法人ちいしば会

えんげいかい しろうと演芸会

☆開催のご案内☆

ちいしば商品の販売も
やってるよ！！

今年もちいしば会は地域の皆様も参加できる

イベントを開催します。みんなで楽しく過ごしましょう！

とき 2018年6月9日(土)

開場12時30分 開演13時 終演予定15時30分

ところ ちいしば園(駐車場あり)

※参加無料



お問い合わせ先

社会福祉法人ちいしば会 ちいしば園

奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL: 0745-72-1923

☆後援会費・ちいしばだより年間購読料（2017年12月1日～2018年1月31日）

篠原範子(12.1)、土橋美香、胡内まさみ、辰己浩規、梶川慶子、井上基子、奥田陽子、伊藤繁宜、石渡裕子、窪田義廣、西原学、小川茂美、矢野雄大、小澤千恵子、生活支援センターもちろんたれつ、浪花教会、ひかりの子学園、上野都枝子、草苑幼稚園、竹田和子、村上太一、妻野隆、恵愛保育所、奈良県伝道会婦人部、愛の園保育園

以上 敬称は略させていただきます

～西和7町受託 一般相談支援事業の受託法人変更のお知らせ～

2006年10月から西和7町（安堵、斑鳩、王寺、河合、上牧、三郷、平群）の委託により社会福祉法人ちいしば会が実施してきた一般相談支援事業については今年度末をもって終了することとなりました。次年度からは、「特定非営利活動法人 権利擁護支援センターななつぼし」が、西和7町から一般相談支援事業を受託して、これまでのななつぼしの業務を引き継いでいただくことになりました。

「特定非営利活動法人 権利擁護支援センターななつぼし」では、これまでの一般相談支援事業に加えて、成年後見制度による法人後見等による権利擁護事業も並行して実施いたします。事務所については、しばらくの間、ちいしば園内（生駒郡三郷町勢野北5-6-14）に置くことになりました。事業移行については、できるだけ混乱のないようあらたな受託法人とともに努力させていただきます。これまでの本法人の一般相談事業にご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

※電話番号についても、これまでのななつぼしの電話番号（0745-72-2390）が引き継げるよう調整中です。

二〇〇〇年十一月十二日 第三種郵便承認 毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行

KSKS ちいしばだより

編集人／ちいしば会後援会

年6回 頒価 50円

連絡先／奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL：0745-72-1923 FAX：0745-31-5760

発行人／関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F